

宮崎大学基金

皆様からのご支援を教育研究環境の充実に活かし、
社会への貢献を積極的に行ってまいります。
ご協力をお願い申し上げます。

基金の趣旨

宮崎大学は、「世界を視野に 地域から始めよう」のスローガンを掲げ、地域に根を下ろした特色ある大学を目指しており、多面的かつ柔軟な教育研究活動を推進しています。

国からの財政支援が厳しくなる中で、宮崎大学では、学生の修学支援・就職支援、国際交流活動、キャンパス環境の整備など、より快適な教育研究環境の充実を推進し、魅力ある大学づくりを目指しており、そのために「宮崎大学基金」を設立し、財政基盤(自主財源)の強化を図ることといたします。

使 途

1. 学生に対する支援
2. 研究活動に対する支援
3. 地域・国際貢献活動に対する支援
4. 男女共同参画活動に対する支援
5. 各学部・研究科の教育・研究活動に対する支援
6. 卒業生に対する支援
7. 教職員に対する支援

税法上の
優遇措置が
あります

寄附への
特典が
あります

修学支援事業基金

経済的理由により修学が困難な学生に対し、

- ① 授業料、入学金または寄宿料の全部または一部の免除、その他学生等の経済的負担を軽減します
- ② 学資(独自の奨学金)を貸与または給付します
- ③ 教育研究上の必要があると認めた学生等による、海外への留学に係る費用を負担します
- ④ 本学の規則に基づき、学生を教育研究に係る業務に雇用するための費用を負担します

寄附の申込み方法

1

お問合せ先にご連絡いただきますと、資料をお送りさせていただきます。

2

資料に同封の「振込依頼票」により、振込をお願いいたします。

3

ご入金確認後、「寄附金受領証明書」をお送りします。

※個人情報の取り扱い

ご寄附により取得した個人情報は「国立大学法人宮崎大学個人情報保護規則」及び「国立大学法人宮崎大学ウェブサイトのプライバシーポリシー」に基づき適切に取り扱います。

お問合せ先:宮崎大学基金

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1
宮崎大学企画総務部広報・渉外課内
TEL.0985-58-7114 FAX.0985-58-2886
E-mail:kikin@of.miyazaki-u.ac.jp
HP:http://www.miyazaki-u.ac.jp/kikin/index.html

編集発行 国立大学法人宮崎大学同窓会連合会事務局 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
TEL(0985)58-7114 E-mail: dousou-rengo@of.miyazaki-u.ac.jp ■平成29年8月発行

同窓会連合会ホームページ

宮崎大学 同窓会連合会

検索



宮崎大学同窓会連合会だより vol.7

ごあいさつ



宮崎大学同窓会連合会
会長 前田 稔

「宮崎大学同窓会連合会だより第7号」の発刊にあたりひとことご挨拶申し上げます。併せて、本年度第7回となる宮崎大学ホームカミング日を宮崎大学の皆様とともに開催できますことを心から感謝いたします。

関係各位にご支援いただき完成した立派な「宮崎大学創立330記念交流会館」は、各種の会合やイベント等に活発に活用され、いまや学内の有用な施設として定着しております。同窓会連合会としては、大変ありがたく、今後ともますますその活用が推進され、交流の輪が広がれば、と念じております。

私たちが過去に共に学んだ船塚・霧島キャンパスとは遠く離れたが、現在の「宮崎大学」に思いを寄せ、懐かしい友、恩師、教職員の皆様そして在学生の方々が一室に会し、相互の発展を祈り、連携が深まり、大学の更なる発展に寄与する機会となりますことを心から期待しております。

各学部別同窓会の活動報告・お知らせ

教育学部同窓会(木犀会)

●新霊合祀慰霊祭

○11月4日(土)11:00~ 附属小学校体育館 ○参加費・・・2,000円



●母校創立133周年記念同窓会

○2月25日(日)11:00~ ニューウェルシティ宮崎
○参加費・・・2,000円



宮崎医科大学・宮崎大学医学部医学科同窓会(篠懸会)

会員相互の親睦を図る活動として、「総会・講演会・懇親会」を毎年開催しております。講演会では卒業生による学生時代から現在の近況に至るまでの大変貴重なお話を伺うことができ、支部会からの報告もごさいます。

今年も下記の通り開催いたしますので、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

●平成29年度 総会・講演会・懇親会のお知らせ

【日時】平成29年9月30日(土)17:00~ 【場所】宮崎観光ホテル 西館8F
【会費】8,000円 【申込】同封の参加申込書にて
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/alumni/
↑コチラをご覧ください。



「平成28年度 総会・講演会・懇親会」集合写真

工学部同窓会

工学部同窓会は、平成28年度に中部工学会と北部九州工学会が発足し、関東工学会および関西工学会と合わせて4地区で活動しています。平成28年3月24日の卒業式に続いて、はじめて工学部同窓会主催で卒業・修了祝賀会を行い、学長・工学部長をはじめ総勢約500名の盛大な祝賀会となりました。平成29年4月に工学部に卒業生支援室が設置され、卒業生への各種支援と共に同窓会の運営にも協力いただいています。平成29年5月20日(土)に第2回工学部同窓会が開催され、池ノ上学長はじめ約100名の同窓生が交流を深めました。平成29年度は下記の行事が実施されます。

4月16日(土) 関西工学会新入社員歓迎会(大阪城公園)

5月20日(土) 第2回工学部同窓会(ウェルシティ宮崎)

6月10日(土) 関東工学会(東京)

10月21日(土) 中部工学会(名古屋)

10月22日(日) 関西工学会(大阪)

11月13日(日) 北部九州工学会(福岡)

12月 9日(土) 宮崎県内企業交流会(宮大330記念交流会館)

3月23日(金) 工学部卒業・修了祝賀会(フェニックス・シーガイア)

工学部同窓会のホームページで行事の案内と報告を含め様々な情報をお送りしています。是非アクセスをお願いします。

http://www.web-dousoukai.com/miyazaki-eng/



平成28年度に発足した北部九州工学会

農学部同窓会(船塚会)

●平成29年度「船塚会」通常役員総会

昭和3年の宮崎高等農林学校第1回生から1万8千人を超える卒業生を輩出した船塚会通常総会を去る5月20日(土)、宮崎市内で支部長23名、評議員22名、本役員等19名、計64名の出席のもと、前年度事業実績並びに本年度事業計画、予算案、新役員体制など承認議決されました。特に本年度は支部組織の強化、母校農学部への支援、連携活動などが活動の柱となります。また、農学部准教授、槐島芳徳先生(T58)による農業機械の改良と本県農業の振興に関する記念講演も行われました。

●平成29年度「農学部懇親会」の開催

下記の日程で、恒例の講演会並びに懇親会を行います。木材需要が高まる中で、環境保全や災害防止等の観点から本県林野の果たす役割について解説して頂きます。

【日 時】平成29年9月30日(土) 17:30~20:00

【講 師】鈴木 正勝氏(林野庁宮崎森林管理署長 林学科昭和61年卒)

【場 所】宮崎市「ひまわり荘」【参加費】無 料

【申し込み先】農学部同窓会事務局に9月15日(金)までにTEL、ハガキ等で。
〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1 (TEL:0985-58-2640)



第6回

ホームカミングデイ

H28.11.19 を開催しました!!



平成28年11月19日(土)、第6回ホームカミングデイが宮崎大学創立330記念交流会館等で開催され、70名の卒業生が母校に集い、懐かしい恩師や学友との親睦を深めました。ホームカミングデイは、様々な年代・学部の卒業生が交流できるイベントとして、同窓会連合会と大学が連携して企画し、開催しているものです。当日は清花祭(大学祭)も行われており、学生の活気に満ちあふれた様子に、参加者は自身の学生時代を重ね合わせて懐かしんでいる様子でした。

歓迎式典



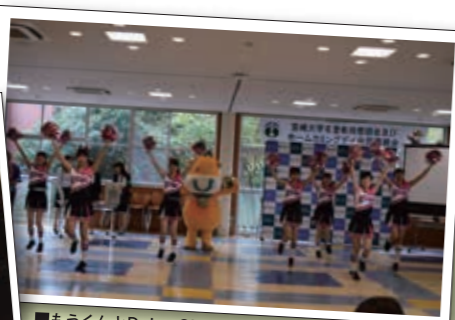
■オープニングセレモニー:
Les Guitares Enjoue'esによるギター演奏

同窓会連合会会長挨拶

懇親会



■抽選会



■もうくとDaisy Girls

懇親会は、学生サークル「Daisy Girls」と宮崎大学オリジナルキャラクター「みやだいもうくん」のコラボレーションによるチアダンスで幕を開け、皆さん楽しんでおられました。宮大グッズが当たるお楽しみ抽選会では、見事当選したラッキーな方へのインタビューも行われ大盛況でした。

感謝状贈呈式

宮崎大学から小八重前会長へ感謝状が贈呈されました

平成29年4月20日、宮崎大学の学長室において、池ノ上克学長から小八重祥一郎宮崎大学同窓会連合会会長へ感謝状が贈呈されました。

この感謝状贈呈式において、小八重前会長は「宮崎大学同窓会連合会と各同窓会の発展を祈願いたし、感謝の言葉に代えさせていただきます。」と述べられました。

小八重前会長は平成27年4月1日から平成29年3月31日までの2年間にわたり、宮崎大学同窓会連合会会長を務められました。なお、宮崎大学農学部同窓会(船塚会)の会長は引き続き務められます。



■感謝状を贈呈された小八重前会長(右)

第6回ホームカミングデイを振り返って

実行委員長

塩盛弘一郎 (工学部同窓会理事長)

第6回ホームカミングデイの実行委員長を務めました工学部同窓会理事長の塩盛と申します。工学部同窓会は平成26年12月に再構築され、全学同窓会組織の中で最も新しい同窓会となりました。

歓迎式典は、昨年と同様、在校生に司会・進行をお願いし、教育学部卒業生が参加のギター演奏で始まりました。特別講演は、池ノ上克学長の「周産期医療と共に」という演題で行われました。担当学部の関係者に講師をお願いするのが恒例でしたが、工学部同窓会で、今回は学長就任直後でご挨拶のみであり、一度も講演等をお聞きしたことがない、という意見が出たことから、学長にお願いしたところ、快くお引き受けいただきました。学長の自分史から始まり、宮崎県の周産期医療体制や附属病院の改革・拡充について軽快な口調で引きつけられる講演であり、多くの参加者から好評でした。懇親会は、名誉教授懇談会と合同して生協食堂で開催され、在校生の司会進行により華やかなチアダンスで始まりました。途中、各学部同窓会の活動報告や懐かしの写真を見ながらの楽しいひとときで、最後は抽選会で盛り上がりしました。

今年は大学祭とは異なる10月14日(土)に創立330記念会館で、在校生も加わっての新しい企画で開催される計画です。ホームカミングデイが卒業生に親しまれ、楽しみにされる行事となりますよう、同窓の皆様のご協力とご参加をよろしくお願い致します。

特別講演

「周産期医学と共に」

講演者 池ノ上 克氏 (宮崎大学学長)

池ノ上学長による講演は、参加者から、「新聞に学長の自分史が掲載され拝読していただいたので、オーバーラップし、お人柄も伝わり、生のお姿も拝見できありがたかったです。」などの声が寄せられ、大好評でした。

2017年も開催決定!!

お楽しみに!!

第7回宮崎大学ホームカミングデイ

■日時:平成29年10月14日(土) 10:20~

■場所:宮崎大学木花キャンパス

※詳細については、同窓会連合会ホームページ及び各学部同窓会を通じてお知らせします。

卒業生レポート

みなさん、卒業後、どのような人生を送っているのでしょうか。
様々な分野で活躍している方や趣味を楽しんでいる卒業生をピックアップしました!

緒方明夫さん(木犀会前会長・昭和32年学芸学部卒業)

平成27年度までの6年間、木犀会会長としておよそ3500名の会員をリードしてくださいました。

その間、会員の高齢化と現職会員の減少という課題に対して、学生を準会員として位置付けた組織の拡充や学部と一体となった連携の強化など、木犀会の活性化に努力されました。

現在では、会の顧問として、教育文化学部学生の教員採用試験対策支援として、5月の願書の書き方、8月の2次試験対策指導等、学生・学部との連絡・調整に御尽力いただいています。

(文責:木犀会事務局長 熊本)



小島章弘さん(昭和57年医学部卒業)

宮崎医科大学を卒業して35年が経過した。母校のある清武で開業したこともあり後輩の在学生が体調不良時など受診して来る。後期試験あたりは極限状態の様な顔でやって来て試験の話や教授への不満などを吐露して帰る。再試の前に不眠と嘔吐を訴え泣いて受診した学生もいた。また一発卒留となった学生は国試合格まで何かにつけ顔を見せに来てくれた。

在学生の後輩達と接することが、マンネリ化しそうな開業医生活に先輩足り得る努力を引き出してきている。



尾崎晴奈さん(平成24年医学部看護学科卒業)

宮崎大学医学部附属病院に入職今年で6年目になりました。新人さんを指導する立場にもなり、不安でいっぱいできないことばかりだった自分がここまで働くことができているのも、あたたかく見守り指導して下さった先輩方がいて下さったからなんだなあとしみじみと感じています。まだまだ未熟で勉強途中。これからも看護師として成長できるように日々頑張っていきたいと思います。



油田健太郎さん(平成15年工学部情報システム工学科卒業)

情報工学科が情報システム工学科に改組した年に入学しました。この度、ご縁があり、母校の教員になることができました。学生の頃と比べると、昼休みにフードトラックが来てソフトクリームなどを売っていたり、宮崎大学Milkを売っていたりと変化を感じました。先日は農学部附属フィールドセンターでじゃがいもの詰め放題に参加しました。同窓会のページを運用していますので、情報卒業生の方はFacebookで学科名を検索してみてください。



坂口浩平さん(平成25年3月農学部獣医学科卒業)

公務員獣医師として働き始めて5年目に突入しました。入庁当時、畜産試験場で繁殖研究に携わったかと思えば、昨年から都城家畜保健衛生所へと異動し、業務内容の違いに四苦八苦しながらもなんとか日々を過ごしています。特に都城は県内でも有数の家畜の集合地帯であり、都城家保が管轄する農家は県内の半数以上です。非常に充実した時間を、日夜多くの農家さんとふれあいながら、宮崎の畜産に少しでも貢献できるように邁進していきたいと思っています。



畜産試験場勤務時に受精卵の検索を実施している様子